

# 平成 28 年度 事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

## 目 次

### I 法人の概要

- 1 法人の名称
- 2 法人の所在地
- 3 認可年月日
- 4 沿革及び学園の組織
  - (1) 学園の沿革
  - (2) 学園の組織
  - (3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名
  - (4) 設置する学校・園の名称及び所在地
  - (5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況
  - (6) 設置する学校・園・学科等教員・保育士数の状況

### II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

### III 財務の概要

※別紙資料の通り

学校法人 三浦学園

## I 法人の概要

### 1 法人の名称

学校法人 三浦学園

### 2 法人の所在地

東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

### 3 認可年月日

昭和 26 年 3 月 9 日

### 4 沿革及び学園の組織

(1) 学園の沿革 (別紙参照)

(2) 学園の組織 (別紙参照)

(3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名

#### ①理事・監事

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役職	職名・担当職務	氏名	現職
理 事	理事長	三浦 洋義	学園長
理 事	常務理事	根岸 順一	法人本部事務局長
理 事		氏森 英亞	有明教育芸術短期大学学長
理 事	(学外)	志賀 平治	
理 事	(学外)	井上 嘉明	井上税務会計事務所長
理 事	(学外)	富永 光太郎	(株)リヴィジョン代表取締役社長
監 事	(学外)	朝倉 和行	(株)朝倉代表取締役
監 事	(学外)	村 滋	(有)ムラ・アソシエイツ代表取締役

#### ②評議員

役職	職名・担当職務	氏名	現職
評議員		三浦 洋義	学園長・理事長
評議員		根岸 順一	常務理事・法人本部事務局長
評議員		中西 菊乃	有明教育芸術短期大学事務局次長
評議員		菊本 和仁	日本音楽高等学校校長
評議員		水本 真澄	日本音楽学校幼稚園長
評議員		金子 慶子	日本音楽学校保育園長
評議員		渋谷 匠	法人事務局広報課長
評議員		小菅 雅之	法人事務局経理課長
評議員	(学外)	新井 清	(有)希望商事代表取締役

評議員	(学外)	平井 キミ子	日本音楽高等学校同窓会監査
評議員	(学外)	森戸 由久	創価女子短期大学名誉教授
評議員	(学外)	志澤 徹	吉浦・志澤法律事務所 弁護士
評議員	(学外)	根本 美香	(公社) 日本バレエ協会監事

(4) 設置する学校・園の名称及び所在地

名称	所在地
有明教育芸術短期大学 子ども教育学科	〒135-0063 東京都江東区有明二丁目 9 番 2 号
日本音楽高等学校 普通科（幼児教育コース） 音楽科（音楽コース） （バレエコース） （舞台芸術コース）	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号
日本音楽学校幼稚園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号
日本音楽学校保育園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

(5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況

（平成 28 年 5 月 1 日現在）

	入学定員	収容定員	学生生徒園児現員数	平成 28 年度
				入学者数
有明教育芸術短期大学	100 名	300 名	332 名	109 名
子ども教育学科	100	300	295	109
日本音楽高等学校	100	300	215	71
普通科（幼児教育コース）	30	90	33	9
音楽科（音楽コース） （バレエコース） （舞台芸術コース）	70	210	45 83 54	10 27 21
日本音楽学校幼稚園	35	150	104	35
日本音楽学校保育園	9	26	28	9

(6) 設置する学校・園教員・保育士数の状況 (平成 28 年 5 月 1 日現在)

①短大教員

設置校名	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	兼務者
有明教育芸術短期大学	6	4	5	0	0	15	23

\* 学長は教授に算入

②高校教員・幼稚園教員・保育園保育士

設置校名	専任教諭・保育士	兼務者
日本音楽高等学校	16	45
日本音楽学校幼稚園	6	0
日本音楽学校保育園	10	0

II 事業の概要

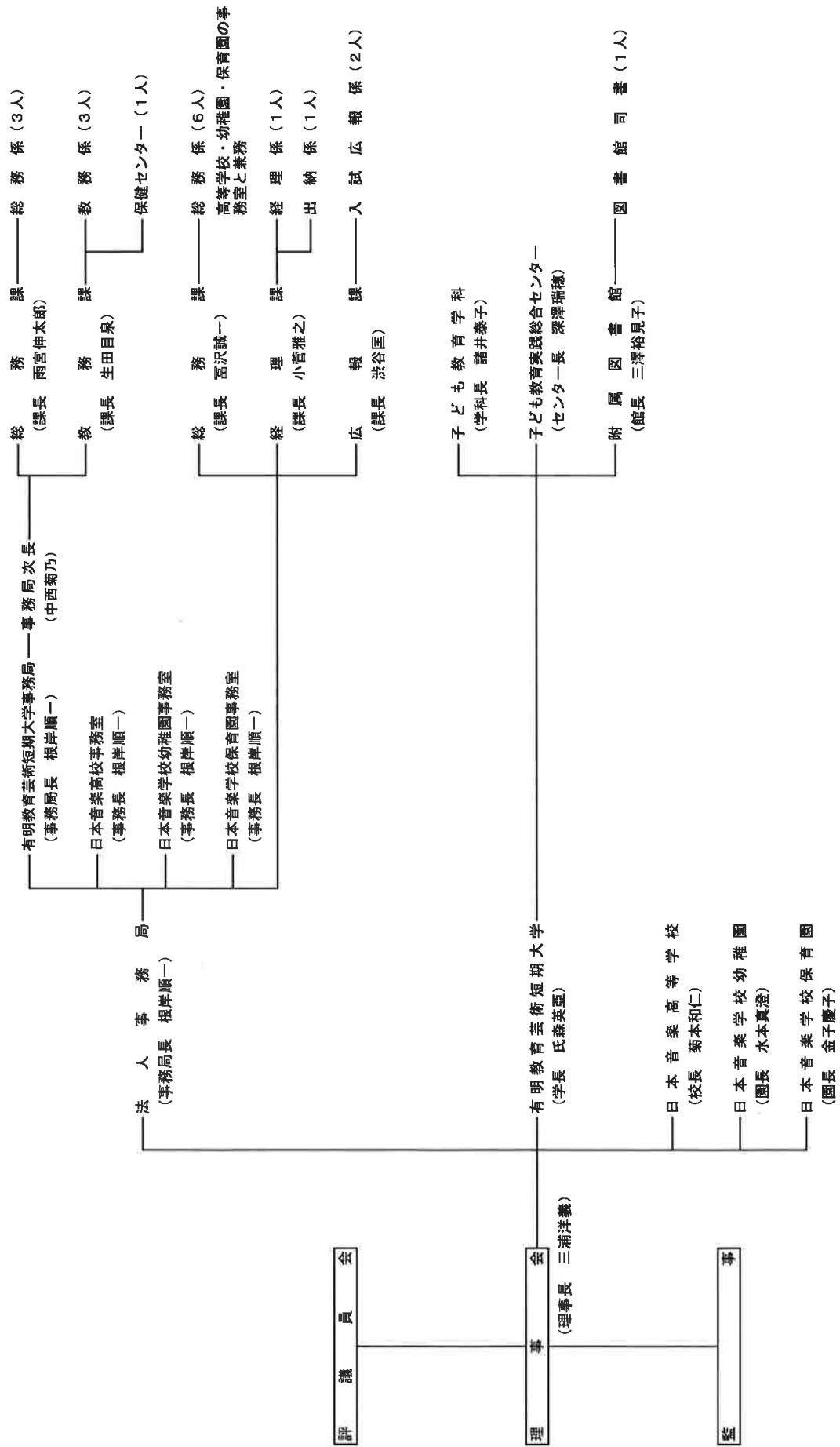
※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

III 財務の概要 別紙資料の通り

法人の沿革	明治36年 明治39年 大正12年 昭和2年 昭和19年 昭和22年 昭和24年 昭和25年 昭和28年 昭和29年 昭和36年 昭和47年 昭和53年 昭和63年 平成4年 平成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成14年 平成15年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年	山田源一郎により我が国初の私立音楽学校「音楽遊戯協会」として神田淡路町に創立 女子音楽学校(女子)・日本音楽協会(男子)に名称変更 校舎を中野打越に移転 日本音楽学校に名称変更。創立者・初代校長 山田源一郎死去 学校法人三浦学園成立(3月31日) 校舎を品川区豊町に移転 日本音楽学校附属幼稚園および日本音楽学校附属入新井幼稚園を設置 日本音楽学校附属豊小学校、日本音楽学校附属豊中学校、日本音楽高等学校を設置 日本音楽学校に我が国初の教員養成機関(中学校音楽教諭養成科)を設置し、文部大臣の指定認可を受ける 日本音楽学校に文部大臣指定の幼稚園教諭養成科を設置 日本音楽学校附属入新井幼稚園を廃止 日本音楽学校に厚生大臣指定の保母養成科を設置 日本音楽学校が専修学校に認可 日本音楽学校創立85周年事業の一環として2号館校舎(教室、中ホール)竣工 日本音楽高等学校 音楽科「舞台芸術コース」設置 日本音楽学校創立90周年事業の一環として三浦記念館(大ホール、幼稚園舎、視聴覚教室、特別教室)竣工 三浦洋義理事長及び学園長に就任 日本音楽学校附属豊小学校及び日本音楽学校附属豊中学校を廃止 日本音楽学校にレクリエーション・インストラクター資格者と児童厚生指導員の養成課程設置 厚生大臣指定東京聖星社会福祉専門学校(介護福祉学科)設置 日本音楽学校保育園設置 日本音楽高等学校 普通科「幼児教育コース」設置 日本音楽学校創立100周年 有明教育芸術短期大学 認可(10月31日) 有明教育芸術短期大学子ども教育学科及び芸術教養学科の二学科で開學 日本音楽学校を廃止 日本音楽学校附属幼稚園を日本音楽学校幼稚園に園名変更 日本音楽高等学校 音楽科「舞台芸術コース」設置 東京聖星社会福祉専門学校を廃止 有明教育芸術短期大学芸術教養科学科生募集停止 有明教育芸術短期大学芸術教養科学科廃止 日本音楽高等学校 普通科募集停止 日本音楽高等学校 幼児教育コースを音楽科として募集
-------	---	--

I - 4 - (2) 学園の組織

(平成29年3月31日)



## 平成 28 年度 有明教育芸術短期大学 事業報告

### 1. 教育活動

#### 1) 学則を含む諸規定等の整備を行った。

##### ①学則

- ・「第 49 条 学生は、他の学科の授業科目を別に定めるところにより履修することができる。」を削除し、第 50 条以下を繰り上げた。
- ・別表第 1 に記載の単位数合計を削除し、『事前事後の指導（幼稚園）』と『事前事後の指導（小学校）』の科目名を実習科目から演習科目に改正した。
- ・学則第 30 条 1 の「・・第 63 条又は第 64 条を・・」を「・・第 62 条又は第 63 条を・・」に改正（あわせて諸規定の条番号を改正）した。

##### ②高大連携教育による科目等履修生に関する規則

- ・「第 5 条 受講できる科目は他学科開設科目または学科が特別に決めた科目とする。」の下線部分を削除した。

##### ③有明教育芸術短期大学科目等履修生規程

- ・資格や免許を取得しなかった本学卒業生が、科目等履修生として実習等の科目履修を可能にするため、第 8 条、第 10 条の 3) を改正した。また、「実習」を履修する際には、在学時の単位修得の有無に関わらず「事前事後の指導」の履修を義務づけた。

##### ④成績優秀者授業料減免規程

- ・学則第 62 条第 1 項に基づき、成績が特に優れている者に対する減免について必要な事項を定めた。

##### ⑤特待生 2 年次以降の減免についての内規の一部改正

- ・「概ね、平均出席率 90% 以上、成績は GPA が各学年の上位 5 位以内の者。」を「減免を受ける前年度の出席率が概ね 90% 以上、成績は GPA が各学年の上位 3% 以内の者。・・」に改正した。

また、「但し、平成 27 年度入学者については、成績の基準を GPA が上位 5 位以内のものとする。・・」及び「その他 2 この内規により減免を受けた者は、公募による学生納付金減免申請を行うことはできない。」を追記した。

##### ⑥学生の課外活動に関する規則

- ・第 2 条(1) 「部員が 5 名以上いること。」を「部員が 2 名以上いること。」に改正した。

##### ⑦紀要編集要項

- ・要項 4. の論文審査(1) 「・・依頼するものとする。」を「・・依頼する。」及び(3) 「・・報告するものとする。」を「・・報告する。」に改正した。

##### ⑧研究助成費規則を制定した。

#### 2) 授業

- ・通常の時間割及び大学歴に従って授業を行い、実施上に特段の問題はなかった。

#### 3) 学生ハンドブック

- ・2016 年度学生ハンドブックを作成し、学生及び教職員に配布した。

#### 4) 欠席の多い学生への対応

- ・欠席の多い学生に対する教務委員及びクラス担任による履修指導を継続した。

#### 5) FD 活動

- ・授業評価の実施とその結果に関する教員からコメントの回収。
- ・教員相互による授業見学

#### 6) 図書館

- ・新入生対象に図書館利用に関するガイダンスを行った。
- ・資料検索法についてのガイダンスを行った（卒業研究支援）。
- ・学生による図書館利用の活性化を図るための第 3 回読書感想文コンクールを実施した（応募件数 4）。

## 7) 個別指導

- ・履修カルテを基に個別指導を行った。

## 2. 研究・研修活動

### 1) 紀要

- ・紀要第8巻(原著論文2編、実践研究1編、調査報告1編、研究ノート2編)を刊行した。

### 2) 文部科学省科学研究費助成金

- ・本学教員を代表者とする1題(継続)が文部科学省科学研究費助成金を受けた。  
基盤研究C:「保育者養成における演劇を専門としない教員のための劇表現指導教材の開発」、研究代表者山本直樹

### 3) 研修

- ・教員の研修103件を承認した。

### 4) SD研修

- ・学校法人三浦学園有明教育芸術短期大学事務局職員の能力・資質向上のための研修の実施方針に基づき、平成28年9月23日に全体研修を実施した。また、階層別研修として宿泊を伴う新任職員研修及び管理職研修へ参加した。更に、中堅職員研修8回、課題別研修22回参加する他、自己啓発研修等において能力・資質向上に努めた。

## 3. 学生募集活動

- ・ホームページの入学試験情報を更新した。
- ・オープンキャンパスを14回実施した(参加した受験対象者数:165名(昨年比-6))。  
9月に学生交流向けのオープンキャンパスを実施、参加者の反応良好。
- ・オープンキャンパス参加し、かつ本学を受験した者:53名(36.8%)。
- ・個別相談ブースを利用した参加者数:155名(27年度99名)。
- ・本学見学者は26名で、その13名(50%)が本学に出願した。
- ・高校内進路ガイダンス出席者は138名で、その2名(0.1%)が本学に出願した。
- ・訪問した高校は514校であった。
- ・資料請求件数は1,794件であった。

## 4. 入学試験

- ・推薦入学試験を4回実施した。

出願数38(指30、公2、特待3、自己3)、昨年比+13

- ・AO入学試験を7回実施した。

出願数26、昨年比-5

- ・一般入試を2回実施した。

出願数5、昨年比+2

- ・日音入試1回

出願数1、昨年比-5

- ・出願者は70名、入学者は69名であった。

## 5. 修学支援

- ・授業料の減免制度(学則第67条)及び入学金の免除制度(学則第68条)による修学支援や学納金
- ・免除措置等による修学支援を行った。  
前期:授業料減免者7名、適用金額70万円  
後期:授業料減免者7名、適用金額70万円
- ・入学金免除者は2名、免除金額は56万円であった。

## 6. 学生生活支援

- ・1年生対象の宿泊研修を実施した。  
実施年月日 平成28年4月22～23日  
場所 長野県茅野市 車山高原  
参加者 1年生62名(欠席者0名)、2年生6名、教職員9名、合計74名  
宿泊研修経費 1,183,451円
- ・「第8回有明祭」運営を補助した。  
開催日時：平成28年10月29日（土）～10月30日（日）  
内容：学生による発表会・模擬店等  
来場者：590名
- ・学生の希望により、同好会を廃止してサークルを創設した。  
創設サークル数7  
全学生に対する入会した学生の割合 25.5%
- ・本学のマスコットキャラクター（学生からデザイン募集）を作成した。
- ・学生相談室を通して学生の悩みに対応した。  
相談件数1件、相談回数:2回
- ・インターネット講習会を開催した。
- ・避難訓練を行った。
- ・卒業生を対象に学生生活満足度調査を実施した。

## 7. 実習支援

- ・実習関連スケジュール一覧を作成し、ホームページに掲載した。  
実習依頼件（幼稚園・保育所）総数288  
巡回指導訪問（園・保育所・小学校）総数385  
1教員あたり巡回相談は約25個所
- ・教育実践総合センター主催の親子サロンをプレ実習（1年生）事後指導に活用した。

## 8. キャリア・就職支援

- ・教育実践総合センター事業の中で学生が子育ての実際を学ぶ機会を提供した。
- ・全卒業生にアンケート調査を実施し、就職活動支援の参考資料とした。
- ・進路についての調査・登録を全学年対象に実施した。
- ・2年生及び保護者向けのガイドブックを編集・発行した。
- ・「学習と表現の技法」（必修）の時間内でガイダンス・講座を8回（内訳：1,2年生各1回、1・2年生合同1回、3年生5回）実施した。
- ・任意参加のガイダンス・講座を49回（内訳：1年生4回、2年生8回、3年生32回、1・2年生4回、全学年1回）実施した。
- ・子ども教育学科卒業生86名中、就職者73名、進学者1名、未定者4名、不明者8名（就職希望無を含む）であった（就職者73名/就職希望者77名=94.8%）。

## 9. 教員人事（予定）

- 1) 退職者
  - ・専任教員2名（日暮トモ子教授、木庭みち子准教授）が平成29年3月31日付で退職した。
- 2) 採用候補者
  - ・専任教員3名を採用候補者として理事長に上伸した。  
岡本仁美(56)講師：担当予定科目「保育実習(保育所・施設)Ⅰ」他、  
木田竜太郎(40)講師：担当予定科目「教育の理念と歴史」他  
田中正代(54)講師：担当予定科目「事前事後の指導(小学校)」他)

### 3) 昇任

- ・深沢瑞穂准教授の教授昇任を理事長に上伸した。

### 4) 役職

平成 28 年度の役職及び役職者は、次の通りであった(敬称略)。

学長 氏森英亞、図書館長 三澤裕見子、学科主任 諸井泰子、  
教育実践総合センター長 深沢瑞穂

## 10. 教員の管理

- ・教員の学外活動について適正な管理を行った。

- ・他大学非常勤勤務 6 件を承認した。

- ・その他、次の教員の学外活動を承認した。

諸井泰子教授：江東区文化コミュニティ財団、外部評価委員、区民企画講座審査委員、

深澤瑞穂准教授：江東区教育委員会幼稚園主任研修会講師

深澤瑞穂准教授・杵鞭広美教授：日本音楽学校保育園第三者委員

山田麻美子講師：品川区立保育園研修会講師

山本直樹准教授：江東区文化コミュニティ財団公開講座講師

## 11. 自己点検・評価

- ・平成 26 年度「自己点検・評価報告書」を 100 冊子印刷した。本学教職員及び山梨短期大学と育英短期大学に各 1 冊ずつ配布した。
- ・平成 27 年度自己点検・評価報告書の作成及び本学ホームページによる情報公開に向けて作業を進めた。
- ・各委員会等に平成 28 年度の自己点検・評価を依頼した。

## 12. 施設整備・管理

- ・100 名収容可能の講義室を整備した(101 教室の席数増及び上下スライド式黒板の設置)。
- ・304 教室に電子黒板を設置した。
- ・キャリアサポートセンターの床面積を広げ、学生のセンター利用の便を図った。
- ・施設の学外貸出件数は、5 件であった

## 13. 人権

- ・人権に関する 28 年度の相談員名等を記載したリーフレットをオリエンテーション時に配布し、また必要に応じて教職員や学生が手にできるよう事務局前に配備した。
- ・人権事案に関する相談はなかった。
- ・人権に関わる講習会を開催した。

実施年月日：平成 28 年 12 月 2、5 日、

テーマ：インターネット安全教室

講師：独立行政法人情報処理推進機構 山田栄治氏

対象：全学年教職員

## 14. 対外活動

- ・特別提携校（日本音楽高等学校及び東京都立篠崎高校）との教育連携を行った。
- ・東京都立園芸高校（山田・橋教員担当）、東京都立第三商業高校（橋教員担当）で出前授業を行った。

## 15. 地域社会との連携に向けた事業

### 1) 公開講座

- ・「造形表現わくわくワークショップ」

開催日時：平成 28 年 10 月 29 日

講師：有明教育芸術短期大学 教授 有福一昭

参加者：55 名

### 2) 子育て支援事業

- ・親子サロン・FRAN を 33 回実施した（参加者は乳幼児延べ 137 名、保護者延べ 118 名）。

- ・子育て講座：年度内に 2 回開催した。

1回目 平成 28 年 6 月 30 日（木）

「わらべうた・ふれあいあそび」（参加者親子 11 名）

2回目 平成 28 年 10 月 30 日（日）

「お父さんと遊ぼう うたおう・あそぼう・たんさいぼう」（参加者親子 18 名）

- ・「親子で楽しむ夏祭り」平成 28 年 8 月 25 日（木）（参加者 71 名（学生・教員含））

### 3) 連携事業

- ・江東区教育委員会との連携事業協定に基づき、同区立幼稚園に学生 3 名を派遣した。これにより、「ボランティア活動とキャリア教育」(3 年前期)受講へのレディネ及びキャリア形成を図った。

### 4) エクステンションスクール（ピアノ教室）

- ・受講者数 30 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ピアノ発表会を実施した。

平成 29 年 3 月 4 日（土）本学ホールにて開催 参加者 20 名、来場者 100 名

（以 上）

## 平成 28 年度 日本音楽高等学校 事業報告

I 建学の精神や教育目標に基づく、目指す生徒像と学校像の目標を達成するために、以下の通り実施した。

### II 平成 28 年度の取組み

#### 1 生徒募集への全教職員による積極的な取組み

- (1) 平成 29 年度入学者数 3/31(金)現在 ※()内は、昨年度の入学者数  
応募者数 104 名・受験者数 103 名・合格者数 99 名・入学者数 73 名  
※今年度入学生より普通科幼児教育コースから音楽科幼児教育コース  
<コース別入学者数内訳> A・・・単願 B・・・併願  
幼児教育: A 2 (4) B 0 (0) 一般 4 (7) 合計 6 (11)  
音 楽: A 11 (15) B 0 (0) 一般 3 (4) 合計 14 (19)  
バ レ エ: A 14 (17) B 0 (0) 一般 13 (5) 合計 27 (22)  
舞台芸術: A 16 (12) B 1 (0) 一般 9 (7) 合計 26 (19)  
合計 A 43 (48) B 1 (0) 一般 29 (23) 合計 73 (71)

※三浦学園奨学金 9 名 (内訳 成績特待: バ2・舞2・実技特待: 音3・OG特待: バ2)

- (2) 中学生の学内行事への参加数 ※()内は、昨年度の来校した中学生数

	音 楽	バ レ エ	舞 台 芸 術	幼 児 教 育	未 定	合 计
日 音 祭:	12(12)	30(31)	9(14)	3(4)	5(5)	59(60)
6 回の学校説明会:	47(49)	97(64)	74(42)	30(31)	1(1)	249(187)
4 回の体験入学:	59(46)	140(124)	64(55)	23(23)	0(0)	286(248)
ナレッジマッチ:	11(15)	19(18)	20(14)	7(4)	17(0)	74(51)
音楽講習会:	23(19)					

◎今年度は、ほとんどの学内行事への中学生の参加が増加した。学外における進路説明会を含め、次年度には目標入学者数 85 名を、31 年度には定員 100 名の入学者の実現に向けて具体的な方策により尽力する。

#### 2 豊かな人間性の育成

##### (1) 基本的な生活習慣の確立

全教室へ額に入れ、建学の精神と教育目標を掲示して意識向上を図った。また、生活目標「あ: あいさつ、じ: 時間、み: 身だしなみ、こ: 言葉遣い、し: 姿勢」の徹底をすべての場面で行えるようになった。特に時間に関しては、日頃より生徒ばかりでなく教員も授業時間を守れるよう、始業チャイム前に予鈴ミュージック（学園歌のピアノ伴奏）を流すことによって意識させている。

(2) 日々の環境整備・校内に観葉植物、新聞・絵画・書等の掲示をし、音楽を専門とする女子校としての環境を整えた。また、毎日の朝の清掃活動や地域のボランティア活動を実施している。

(3) 年 2 回「心と体のアンケート」の実施・・・定点観測して比較予定・養護教諭の分析及び担任への周知し、三者面談で保護者への啓発に活用・改善している。

(4) 9 月より学生会館を整備し、昼休みと放課後を開放することで生徒が休息・学習・ミーティング等で使用している。

#### 3 確かな学力の向上

専攻実技（実習）の技能と表現を高める指導とともに基礎的な学力の定着・学習意欲の向上・希望の進路を実現する学力の養成を図る。

##### (1) 朝読書・朝学習、夏期休業中の講習の実施状況

・定期考查前 2 週間の朝学習（実施時間 7:40 ~ 8:10）

国語：月・木 数学：金 英語：水・木 音楽：火

・夏期休業日の講習の実施

第1期 7月26日(火)、27日(水)、28日(木)、29日(金)

第2期 8月23日(火)、24日(水)、25日(木)、26日(金)

- (2) 日々の専攻レッスンや実習に向けて、練習や準備が進むように年2回のアンケート調査を実施し、一般教科の学習とともに改善を図らせた。平成29年度は、  
ふりかえりノート「フォーサイト」を使用して、一週間のレッスンや実習までの  
準備や自宅学習の時間の確保等を自己管理できるようにする。
- (3) 各コースの特別レッスンを国内外の講師を招聘して実施した。講師代はコース別  
の企画書の中の予算で対応している。

<音楽コース>

合唱指導

古橋富士雄氏・片野秀俊氏

ピアノアンサンブル

ミラン デヴェターク氏(スロベニア人)

ピアノコンサート

浜川潮氏

金管アンサンブル

本校講師(鈴木H r ・轟T b)

声楽・ピアノ

蔵他雅之氏・黒川浩氏(フェリス女学院大学教授)

<バレエコース>

コンテンポラリー

平山素子氏

タップダンス

本校講師(F I M I K O)

ワークショップ

磯真琴氏(本校卒業生) ロンドンで活躍中

合同オープンレッスン

堀内充氏

ジャイロキネシス

鈴木真由氏(本校卒業生)

舞台照明

山本英明氏

<舞台芸術コース>

エンターティナー

廣瀬愛氏(サンリオピューロランド)

リズムダンス

上田亜希子氏(元宝塚歌劇団・本校卒業生)

日本舞踊

花柳花風香氏

ミュージカル

阿部よしつぐ氏(劇団四季)

<幼児教育コース>

発達支援学講演

長崎勤氏(実践女子大学教授)

[四年制大学] 26人

亜細亜大学経営学部  
上野学園大学音楽学部  
尚美学園大学舞台表現学科  
洗足学園音楽大学音楽学部  
文京学院大学人間学部  
日本大学藝術学部

跡見学園女子大学文学部  
相模女子大学学芸学部  
昭和音楽大学音楽芸術運営学科  
東京音楽大学音楽学部  
日本女子体育大学運動科学科  
武藏野音楽大学音楽学部

など

[短期大学] 7人

有明教育芸術短期大学子ども教育学科  
白梅学園短期大学保育科  
貞静学園短期大学保育学科

昭和音楽大学短期大学部音楽科  
鶴見大学短期大学部保育科

など

[専門学校] 15人

尚美ミュージックカレッジ たかの友梨美容専門学校 東京教育専門学校  
東京こども専門学校 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

#### 4 豊かな個性と創造力の伸長

##### (1) 平成28年度の進路実績(音楽・バレエ・舞台芸術・幼児教育)

H29.3.31 現在

[四年制大学] 26人

亜細亜大学経営学部  
上野学園大学音楽学部  
尚美学園大学舞台表現学科  
洗足学園音楽大学音楽学部  
文京学院大学人間学部  
日本大学藝術学部

跡見学園女子大学文学部  
相模女子大学学芸学部  
昭和音楽大学音楽芸術運営学科  
東京音楽大学音楽学部  
日本女子体育大学運動科学科  
武藏野音楽大学音楽学部

など

[短期大学] 7人

有明教育芸術短期大学子ども教育学科  
白梅学園短期大学保育科  
貞静学園短期大学保育学科

昭和音楽大学短期大学部音楽科  
鶴見大学短期大学部保育科

など

[専門学校] 15人

尚美ミュージックカレッジ たかの友梨美容専門学校 東京教育専門学校  
東京こども専門学校 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

TOKYO STEPS ARTS	東京声優アカデミー	東京ビジュアルアーツ
日本医歯薬専門学校	日本外国語専門学校	横浜ビューティーアート専門学校 など
[ 留学 ・ 入団 ・ その他 ] 6人		
ミュンヘンインターナショナルバレエスクール		名倉ジャズダンススタジオ
スターダンサーズバレエ団ジュニアカンパニー		カコトリミングスクールトリマー科
ポケモンストア		株式会社 キャロット

(2) 自己実現を図る系統的で組織的で個に応じた進路指導

- ・各学年とも年間計画に基づきそれぞれの企画が実施された。学年全体での企画として、面接への対応についての指導、進路ガイダンスと進路体験報告会を実施した。

○進路体験報告会の実施 7月19日(火)全生徒対象

○進路ガイダンスの実施 12月17日(土)1, 2年生対象

○進路体験報告会 3月10日(金)1, 2年生対象

※本校進路推薦内規の周知

(3) 生徒のコンクール・コンテスト・部活動の入選・入賞等

<音楽コース>

- ・全日本ジュニアクラシック音楽コンクール：全国大会出場  
特別賞 (3年Tp)
- ・日本クラシックコンクール：東京予選通過 本選出場  
全国第5位F1 (3年F1 2名・Tp、2年声楽)
- ・全日本学生音楽コンクール (3年F1) : 本選出場※9/13 毎日新聞に掲載
- ・全日本ジュニアクラシック音楽コンクール：本選出場 (1年: Tp)
- ・日本ジュニア管打楽器コンクール (3年F1) : 本選出場
- ・TAMAアンサンブルフェスタ：金賞 金管四重奏・金賞 フルート三重奏

<合唱部>

- ・NHK学校音楽コンクール 高等学校の部 予選 金賞 本選 優良賞
- ・東京春のコーラスコンテスト高等学校の部 銀賞
- ・J C D A合唱の祭典2016 オープニングコンサート出演
- ・「芸術体育系教科研究会(音楽)研修会」合唱：音楽コース全員

<バレエコース> コンクール出場<個人>

- ・TROFEO LOW COST "ITARIA IN BALLO" OVER 第16位
- ・バレエコンクールIN横浜 入選 ジュニア1入賞6 (予選通過)
- ・ジュニアバレエぷれコンクール ジュニア2部門 第5位
- ・東京都民ダンススポーツ大会 A級戦ラテン選手権 準優勝
- ・東京オープンダンススポーツ選手権大会 U-23ラテン選手権 準優勝
- ・スリーピングビューティー全日本バレエコンクール 努力賞 奨励賞
- ・アジアワールドダンススポーツフェスティバル2016 準優勝進出
- ・埼玉全国舞踊コンクール クラシックバレエ・ジュニア部 舞踊協会賞
- ・ダンススポーツグランプリ静岡 グランプリラテン選手権 第5位
- ・座間全国舞踊コンクール 第3位 座間文化芸術振興会賞
- ・ジャパンダンスランプリ2016 ジュニアA入選
- ・全日本バレエコンクール ジュニアAセミファイナリスト
- ・多摩シティ・全国バレエコンクール ジュニアB部門 第4位
- ・全国プレバレエコンクールIN相模原 上位入賞
- ・東京シティ・バレエ全国バレエコンペティション 入賞
- ・プリンシパルコンペティションTV ジュニア 第8位 努力賞
- ・ダンススポーツグランプリ グランプリラテン選手権 第5位入賞
- ・ワールドダンスフェスティバルギャラクシマスターズ アマチュアラテン選手権 優勝
- ・三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会 ラテンの部 第4位
- ・ジャパンオープンダンス選手権大会アマチュアラテン選手権 優勝

- ・ヨコハマコンペティション クラシックジュニア2 第3位
- ・東京ダンス選手権大会 アマチュアラテン選手権 準優勝
- ・全関東ダンス選手権大会 アマチュアラテンアメリカン部門 優勝 神奈川県知事杯
- ・N B A全国バレエコンクール 高校生女子の部 奨励賞・第5位
- ・F L A P全国バレエコンクール シニアの部 第1位
- ・オールジャパンバレエユニオンコンクール 優秀賞
- ・world Balle trial 第8位 奨励賞
- ・キエフ国際バレエコンクール 第2位

<ダンス部>

- ・東京都高等学校舞踊研究発表大会「1・2年生作品」課題作品 優秀賞

<演劇部>

- ・東京都高等学校演劇コンクール 山手城南地区大会 上位2団体入選

## 5 学校運営体制の強化

### (1) 入学選抜の適正な実施

入学選抜に係わる試験問題の検討と作成及び願書の受付から合格発表、入学手続きまでの入学選抜に係わる進行管理は適正に行われた。

### (2) 全校生徒に充実した学校生活を送らせる高い満足度をもてるよう指導をしているが、今年度、様々な理由でやむを得ず途中転学または退学した生徒の数は、以下の通りである。個々にその原因は違うが、保護者の理解を含め丁寧な対応と指導で減らしていく。

<理由の一例>

- ・生活指導上課題があり、怠学傾向で進級卒業できない。
- ・座学の学力はあるが、専攻実技についていけない。都立高や私立高に転学。
- ・在学中、コンテストやコンクールに入選し、留学するために通信高校に転学。
- ・遠距離のため保護者と離れて暮らすことで精神的に不安定になる。
- ・中学生から不登校傾向にあり、集団生活に適合できない。

<途中転学や退学者数>

1年	幼0名、音1名、バ7名、舞2名、	計10名	(4/1付在籍 72名)
2年	幼2名、音0名、バ1名、舞1名、	計 4名	(4/1付在籍 63名)
3年	幼0名、音0名、バ1名、舞0名、	計 1名	(4/1付在籍 59名)
合計	幼2名、音1名、バ9名、舞3名、	計15名	(4/1付在籍 194名)

## 6 開かれた学校づくり

### (1) 教育情報の積極的な発信

- ・1月にホームページを完全リニューアルした。携帯やスマホからの見られるようになり、保護者・生徒だけが見られる連絡欄や学校だよりをはじめとする新着情報を週に一度は更新している。中学生が本校に興味・関心をもってもらえそうな本校の行事の情報や入試に関する情報もアップしている。
- ・中学生の募集に関して、新年度の学校案内の完全リニューアルするにあたって募集対策委員会が中心となって進めた。完成は5月連休明けの予定である。
- ・校長の学校だより、各学年・各コースのたより等、生徒の様子や活躍の状況を多くの保護者・地域・中学生に知ってもらえるようにビジュアルも含め改善する。

### (2) 併設の幼稚園・保育園・有明教育芸術短期大学との連携

- ・児童教育コースの生徒による週に1度の併設の幼稚園・保育園の実習や行事の手伝い等を含め、連携をより一層深めていく。
- ・有明教育芸術短期大学の教授による児童教育コースの特別授業は行っているが、次年度には短大での授業体験ができるように連携を図っていく。

### (3) 地域との連携

- ・荏原第五地区の清掃ボランティア活動に参加している。

- ・大井町駅前で開催したオリンピックパラリンピックの関連した品川区の行事「しながわビーチバレー ボールフェスタ」や大崎駅前の「しながわ 夢さん橋 2016」イベントに音楽コースの金管アンサンブルが参加した。また、「三木小ふれあい交流会」に音楽コースの女声合唱&ピアノ連弾で参加した。
- ・幼児教育コースは「ゆたか児童センター交流企画」=赤ちゃんとのふれあい講座=に年6回の計画的に参加した。次年度も参加予定がある。また、荏原第五地区の「品川区民まつり 2016」に受付や幼児のゲーム等の手伝いを行った。
- ・生徒会役員は、年2回荏原第五地区清掃活動に参加した。次年度は、奉仕活動委員会を立ち上げ、協力者を募っていく。また、生徒会役員・荏原警察署員・下神明駅員の協力のもと「痴漢撲滅キャンペーン」に参加した。
- ・華道部4名と顧問で、「2016 品川区民作品展」に生け花で参加した。
- ・日音祭やサウンドオブミュージック上演に関して、日頃からお世話になっている近隣住民を招待した。

(4) 学校運営連絡協議会の実施	6月23日（木）
(外部委員)	保護者代表 小川美智世（父母と教師の会会长）
	同窓会代表 堀京子（同窓会会长の代理として出席）
	地域関係機関代表 蜂屋隆子（品川区立大崎中学校長）
	地域社会代表 紺嶋信一（品川区商店連合会副会长）
(内部委員)	校長 菊本和仁
	教頭 松本幸浩
	副教頭 渡邊裕子
	事務局長 根岸順一
・	学校側から、本校の概要、教育活動の計画、魅力ある本校の教育内容、募集状況などについて説明した。募集を含めて本校への支援、協力を要請した。
・	その後の情報交換の中で、地域の中に積極的に出てくる様になり日音の知名度も上がり、評判も良く成ってきているとのご意見を頂いた。今後も地域に出てきて更に日音、日音生のよさを伝えるために場所や機会の提供を続けるとの意見も頂いた。
・	本校の公開行事への地域の方の参加も増えてきており、更に定着させ、中学生の入学の増加に繋げる方法の一つとして、来年度も年間一回開催する予定である。

## 7 教員の資質向上

- (1) 校内研修会
  - ・教員の指導力向上のために、毎回の教員会30分間で校長を講師として教育課題に関する研修会を実施している。また私学協会からの予算を使って、12/21に高知大学の鹿嶋真弓准教授を講師として招聘し、研修課題「学級担任によるカウンセリング」について全教員で研修を行った。次年度も引き続き実施する予定である。保健関係では、食物アレルギーをもつ生徒へのエピペンの使用やAEDの使用について全教員対象に研修を行った。
- (2) 生徒による授業評価
  - ・年二回（7月と12月）生徒による授業評価を行い、各教科の教員や講師の反省材料とともにP D C Aサイクルで授業改善を行っている。
- (3) 授業力向上のための研究授業（年3回）と研修会
  - ・6月29日（水）塚本晋教諭（社会）、12月16日（金）伊庭崇教諭（数学）、2月1日（水）奥山和子教諭（国語）の授業を全教員で参観した。
  - ・生徒による授業評価に基づき、習熟度に差のある生徒への対応を課題として教員全体での研修会を行うなど、一人ひとりの教員の授業力の向上に努め、生徒の授業への興味・関心の喚起と理解度の向上を図った。また、9月7日（水）と1月11日（水）の2回、生徒による授業評価に基づく教員研修会を行った。
  - ・合格点に満たなかった生徒への効果的な指導法について、朝学習、放課後講習の

実体のある活用を含め、具体的な方策や指導法を引き続き検討する。

- ・授業への興味・関心を高め、習熟度に差のある生徒に対しての学習意欲を喚起するため教材研究や授業方法の工夫などが一人ひとりの教員によって進められている。今後はその実践報告を含め、研究授業の実施等も検討したい。

(4) 自己申告書による面接及び業績評価

- ・校長と教頭が4月・10月・2月に自己申告書による面接を実施し、自己の課題を明確にし、学校経営への参画意識をもって教育活動を行うようにした。

## 8 学校施設管理と学校事務の充実

(1) 予算の執行

- ・事務局との連携を図り、無理・無駄・ムラのない予算の執行に努めた。

(2) 通知書

- ・今年度まで、手書きによる通知書の所見を行ってきた。次年度は通知表もデジタル化してファイルに納めて保護者に渡せるスタイルに変更する。

(3) 情報の管理

- ・パソコン内の個人情報は、持ち出さないこと、学校内で作業を行うこと。また、紙ベースの丸秘書類は、裏紙活用に回らないようにシュレッダーにかけるなど確実に励行してきた。

- ・教科や学年やコースが作成する起案文書は、必ず教頭に提出し、校長の承認を受けることとした。

(4) 授業料の未納者

- ・事務局との連携を図り、期日までの確実な納金を目指した。また未払い者に関しては、連絡を取り、計画書を作成させ理事長の確認を取るようにしてきた。

## 平成 28 年度 日本音楽学校幼稚園 事業報告

品川区は乳幼児をもつ、共働きの家庭の増加に伴い幼稚園より保育園を選ぶ傾向がみられる。しかし、品川区私立幼稚園協会 18 園は平成 28 年度も新制度への移行園はなく、各園とも未就園児からの園児獲得のために、1歳児、2歳児教室などの定期的な運営や園バスを園児の自宅まで迎えにいく園や、早朝の預かり保育時間を 7 時から無料で預かる園等、入園児の低年齢化とともに、共働き家庭の利便に沿っての工夫や動きがみられる。

このような状況を踏まえ、本園も園児募集対策として、平日、長期期間共に休む回数を少なくするなど努めてきた。

### 1 平成 28 年度、年間教育重点目標についての報告

年間教育目標は「健康」を年間の重点目標とし「健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」とした。

ねらい：1・あかるく伸び伸びと行動し充実感を味わう。

2・自分に身体を十分に動かし、進んで運動しようとする。

3・健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。

学年の発達に応じ、園庭で伸び伸びと身体を動かして遊び、一人遊びから集団遊びへと成長し、特に年長児はクラス全体でルールのある遊びを楽しむ事が出来た。

また、安全に対してのルールも理解し大きな怪我もなく 1 年間を過ごす事ができた。

伝染性の病気も、徹底した「健康カード」の活用により、感染症で休園する事もない 1 年間となつた。

### 2 教員の資質向上への取組みについての報告

- ・今年度も特別支援教育の研修には教員が出来る限り参加し、朝の打ち合わせの時間を利用し共通理解が出来る様に努めた。
- ・園児への対処も、早期発見と保護者との話し合いの場を細やかに設けた事により、専門機関へ通所する体制が大分とれてきた。それにより、個々に専門機関に通う園児が増え、良い方向での成長がみられてきた。
- ・外部研修については、品川区私立幼稚園の研修は参加しやすいが、外部研修への参加は夏休みに限られ、平常時の研修は行事と重なるため、参加しにくかった。

### 3 特別強化授業についての報告

- ・英語やリトミックは園児が喜んで参加し、小学校に進んでからも幼稚園での学びが活かされ自信を持って学習に臨んでいる。
- ・体育に関しては、今年度も授業を受ける機会が少なかったため、出来る事は担任が指導にあたってきた。今後も基本的な事は普段の保育の中で身体を動かしていきたい。

#### 4 園と保護者とのつながりについての報告

園児の健全な心身の成長のためには、保護者の園活動への理解や協力は欠かせないが懇談会、保育参観、個人面談、家庭教育学級への参加において年々、出席者は限られてきている。

特に働いている母親の就労時間の長さや休みにくい等の状況がみられ、個々への対応が必要になっている。(特に園児が定期的に預かり保育を利用している家庭にその傾向がみられる。)

この様な状況のため、個人面談では出席しやすい時間帯に来てもらう等の工夫をし、更に日々の事柄でも預かり保育担当者と担任との連携を密にしていく努力は欠かせない。

しかし、平日の日中に行われる行事が多いため、保護者同士でのコミュニケーションを取りにくくのが現状である。そのため、家庭内での出来事に気がつかないことが2例あった。

#### 5 預かり保育の強化についての報告

就労する母親が増え、預かり保育は長時間利用児や長期休業期間の利用児の増加がみられる。また、補助金の支給条件も年々強化されてきたため、長期預かり期間を夏、冬、春に実施したり、遠足を学年ごとに実施したりするなど、出来るだけ全学年が一齊に休む日を減らす工夫をした。

#### 6 幼稚園と小学校との連携についての報告

給食体験：宮前小学校とはできたが、戸越小学校とは行事が重なりできなかった。

職場体験：宮前小学校が来園

展覧会への参加：宮前小学校へ

ふれあい交流会：三木小学校にて当園年長児が鼓笛隊の曲を演奏しました。

就学時連絡会：今年度の年長児の進学先は13校にも広がっており、その中で4校は1名であった。

そのため、小学校へ出向いて個々の園児の状況を報告する事は教員の負担となってきており、今後の検討課題とした。

#### 7 地域との関係についての報告

・子育て支援として：園庭開放の実施（無料） 年間を通し 月1回 水曜日  
午前11時45分～午後0時30分

・子育て相談：無料にて園庭解放や2歳児教室開催の日に教員が担当。

#### 8 平成29年度入園募集への取組み結果についての報告

- ・在園児から6名、卒園児6名 計12名が入園、外部から23名を入園とし定数の35名を確保した。他園も受験する園児の多さによる入園辞退や保育園に入れる事になったとの理由と、父親の転勤による辞退者がでたのが今回の特徴である。
- ・2歳児教室での園児の確保を優先としながらも、保護者の中には保育園と幼稚園との選択に迷いもみられたため、2歳児教室においても事前に面接を行い確実な希望者を見極めていきたい。

# 平成 28 年度 日本音楽学校保育園 事業報告

## 1 基本方針

- (1) 日本音楽学校保育園は保育園の基本方針・保育目標・保育方針を基本に保育課程に沿って年間指導計画・月週案を細かく立案し、一人一人の園児の発達に合わせながら日々の保育を実践してきた。また、日本音楽学校が目指す建学の精神である「あいうえお」（愛情・意欲・うつくしい言葉・笑顔・思いやり）を大切にし保育内容の充実に努めてきた。
- (2) 認可園 15 年目を迎え、0 歳児 9 名・1 歳児 11 名・2 歳児 11 名・計 31 名で保育を実施している。

## 2 保育実践

- (1) 年間を通して音楽に触れ、各年齢にあったわらべうた・手遊び・表現遊びを楽しませたり、色々な素材に触れた製作遊びや体育用具を使って身体を動かす遊びを設定したり、バランスの取れた成長ができるように保育準備をして、年間の中で計画に沿って保育を進めてきた。絵本・パネルシアター・エプロンシアターパー人形劇・絵本の読み聞かせ等に触れる体験も多く持ち、想像力が豊かに育つように心がけてきた。子ども達の発達に合った職員による手作り遊具や、コーナー遊びを充実させ、模倣やごっこ遊びが楽しめる環境を用意した。
- (2) 大好きな外遊びも多く取り入れ、四季折々の自然に触れたり、いろいろな遊具で遊んだりすることが出来た。
- (3) 各保育士が創意工夫して、パネルシアター・寸劇・歌・リズム遊び等を 3 クラス合同で実施し、大好きな活動の一つなのでみんなで楽しめる様な内容を選んで保育に取り入れてきた。
- (4) 遊びのコーナーや飼育物の環境は、年齢の発達に合わせた内容や遊びの様子を見ながら工夫して進めてきた。自分の居場所があったり、興味のある遊具や身近な日常の生活の再現遊びを用意したりして、ごっこ遊びを楽しませてきた。保育時間が長い子ども達にとって、安心して楽しく遊べる環境の用意が特に大切で、毎月の職員会議で個々の状況を出し合いながら関わり方を共通理解し保育を進めてきた。
- (5) 年間を通して日本古来の行事や保護者と共に楽しむ行事を計画するなど工夫することでし、誕生日会等も皆で進め、今年度も保護者の参加人数が多く、「我が子の成長がうかがわれた」とか、「楽しかった」との感想がたくさん寄せられ、職員も励みになっている。
- (6) 2 歳児は身近な野菜の栽培を体験し、食に関心を持ったり、収穫の体験をしたりした。クッキングについては、9 月から取り入れ食材に触れ自分で作る楽しみを経験し、自分で作ったものが口に入ることの喜びを味わった一年となった。3 月には 1 歳児クラスも参加し、進級の期待にも繋がった。調理職員の協力も良く、事前会議を持ち食材の準備やサポートの手順を確認しながら進めてきた。とても楽しい活動になっているので今後も進めたい。

## 3 地域交流

- (1) 全ての行事に地域の方をお誘いし、年々入園前の見学者も多いので、行事への参加を呼びかけて保育園の様子を伝えたり、公園などの声掛けやポスターを掲示したりして、気軽に足を運んでもらい、園児と一緒に楽しんでもらえるようにしてきた。とどらあ祭では近隣の保育園の参加もあり盛り上がった。ハロウィンでは、地域の方々とのつながりもあり、お菓子を頂いたり身近に親しく交流をさせてもらったりするなど、毎年楽しみに待っていて下さっている。また、施設見学来園者 66 名（出産前～2 歳児）が年間を通して有り、入園に関しての質問も多い。

- (2) 保育園との交流は、今年度も二葉保育園・ゆたか保育園の泥んこ遊び・夏祭り・焼き芋・餅つきの行事に参加させてもらったり、園の行事では「ベンちゃんと遊ぼう」「とどらあ祭り」「人形劇」「絵本の読み聞かせ」等に来て頂いたりした。特に地域の保育園交流では、自園では体験できない多くの事を体験させて頂いて、卒園後にも繋がっている。
- (3) 事前打合せから他園の保育士との交流が出来、お互いの情報交換や保育の参考になり学ぶことが多い。
- (4) ゆたか児童センターには0～2歳児が遊びに行き、三ツ木児童センターでも遊ばせてもらった。園にはない物があり楽しみな場所にさせてもらっている。来館してきた地域の方との触れ合いの場にもなっている。図書館の利用も社会に触れる経験となっている。
- (5) 園児の祖父母との交流会を実施した。

#### 4 職務分担・職員勤務形態

- (1) 各係は計画を立て職員会議や事務連絡表にて全職員に知らせ、計画に沿って実施することができた。
- (2) 今年も大きい行事や保護者会等の後には、保護者より感想をうかがいとどらあだよりお知らせした。職員も親の思いが伝わるので、次の計画や保育内容に役立てる事ができた。いつも全員の協力が得られるので、園への思いが伝わり大切に取り上げている。玄関の「ホットフォト」もその日の事がタイムリーに分かり、親子の会話に繋がっている。撮影も行事だけでなく、日常の子ども達の様子が伝え、全員の笑顔のショットや園での生活の様子を伝える様にしてきて連絡帳と併せて関心を持って観て頂いている。
- (3) 今年度も子ども達に慣れている臨時職員に保育の補助や用務の仕事をしてもらったことで、充実した保育を実施することができた。
- (4) 0・2歳児クラスの保育時間が長いので、人数に応じたシフトの配慮をし、十分受け入れられるように、職員同士連絡を取り合って保育内容を確認しながら進めてきた。
- (5) 運営に関しては、常に事務局と連絡・相談し合いながら進めてきた。
- (6) 昨年に引き続き、経験の浅い職員指導では、個々に応じてより具体的に教えたり、時間を作つて個別指導を重ねたりしてきた。保護者が安心して子どもを預けられる保育士になるように、リーダー一職員を中心に、特に記録の取り方、保育準備、保育計画立案を細かく指導した。

#### 5 園内研修

- (1) リズム遊び研修に全員参加させ、職員間で還元して日常の保育やお楽しみ会の集会・運動会・音楽会に取り入れて実践してきた。参加して実際、体験の中で子ども達に合った教材が選べたので今後も参加して保育内容を深めたい。
- (2) 品川区主催の研修への参加を、職員会議で還元して学んできた。とくに今年度は私立園長会主催の研修にも参加でき、具体的な内容の物が多く保育に生かす事ができよかったです。今後も参加の機会があったらできるだけ全員が学べるように配慮したい。

## 6 園外研修

月 日	研 修 名・内 容	講 師	場所時間・参加者	受講料
5・20(金)	第一回 特別支援講演会「気になる子の理解と支援」		品川区役所	
6・23(木)	第二回 特別保育支援「気になる言動と支援他」		第三庁舎	品川区主催
7・22(金)	第三回 「具体的支援他」 第四回 「インサイドワーク他」		14時～17時	無料
9・29(木)	講師：臨床発達心理士上原芳枝氏		小川	
6・8(水)	私立園長会主催 0・1・2歳心のバネを育む保育 今井和子氏		労働会館 芝崎	私立園長会主催 無料
6・24(金)	保育力アップ研修会「保育に活かす記録」 講師：青山学院女子短期大学 教授 岸井慶子氏		品川区役所 14～17 興崎・小林	品川区主催 無料
6・28(火)	給食担当者衛生講習会「食中毒の予防安全な給食運営」 品川区保健所食品衛生担当		品川区役所 金子	
7・6(水)	「一次救命処置」AED・CPRの実習 日本音楽高等学校養護教諭 児島先生		学校にて 全職員	
7・29(金)	3歳未満児の絵画指導入門 講師：芸術教育の表現研究会 代表 丸山智子氏		中野サンプラザ 10時～16時 安藤	8,300×1 8,300円
8・26(金) 27(土)	「学研・保育のチカラ 夏の講習会」 ・リズム遊び・歌・ダンスの実践 鈴木翼・すかんぽ・ロケットクレヨン 新沢としひこ・中川ひろたか・ケロポンズ他		品川区きゅりあん 9時～17時 芝崎・田中・興崎・竹元・窪小林/加藤・小川	7,200×4 28,800円
9・23(金)	幼児教育研修会「オリンピック・パラリンピック」 教育の取り組み (教育委員会主催) ベネッセ教育総合研究所顧問 磯部頼子氏		品川区役所 14時～17時 田中・安藤	品川区役所主催 無料
10・16(日)	「事故防止のための講習会」教育・保育施設における事故防止・発生時ガイドライン 田中哲朗氏		品川区役所 金子・安藤	品川区役所主催 無料
29年 1・17(火)	「気になる子」 臨床心理士 講師：堀内慎平氏		品川区役所 竹元	品川区役所主催 無料
2・8(水)	第二回特別支援講習会 「幼児に寄り添って幼児の自立に向けての支援」 講師：重松清文氏		品川区役所 14～17 窪・芝崎	品川区役所主催 無料
2・13(月)	遊びが「学び」—乳幼児期の教育とは— 0歳から教育が始まる 今井和子氏		労働会館 小川	私立園長会主催 無料
2・28(金)	食育講演会 講師：女子栄養大学教授武見ゆかり氏		品川区役所 14～17時 加藤・竹元	品川区役所主催 無料

## 7 年間保育内容（園児状況）・行事状況

### 一期（4・5・6月）

- 保育室面積拡張の為、0才児8名、1才児10名、2才児10名中9名（1名欠員） 計27名。  
アレルギー児：0歳（卵）1名、1才児（卵）1名、2歳（卵・白身魚鯛）1名 心臓疾患（納豆除去）
- 見守り家庭：母子関係で2名 各機関との連携有り。
  - ・ 年間を通して有明短期大学・高等学校等の実習生を受け入れる。
  - ・ 4月「全体保護者会」園の基本方針や保育計画・行事予定等説明する。5～6月保育参加実施。
  - ・ 5月「はじめましての会」、5月「こどもの日のお祝い」実施。
  - ・ 4月より「ベンちゃんと遊ぼう会」を開始（月1回2歳児中心に製作遊び）。
  - ・ 5・6月「母の日」「父の日」・・・ファミリーデイとし手作りプレゼントをする。
  - ・ 交流保育：区立ゆたか保育園でどろんこ遊び体験。ゆたか育園を招き表現遊び等で交流して遊ぶ。
  - ・ 夏野菜の栽培（インゲン・トマト・サツマイモ等）あさがおの水やり収穫を楽しむ。飼育体験（亀・金魚等）

\*避難訓練毎月実施及び園内安全点検・避難経路・用品・非常食確認。・消防署との合同訓練についても検討。

### 二期（7・8・9月）

- ・ 7月「プール開き」、9月始め「プール閉め」学生会館で実施。全体31名欠員なし。
- ・ 7月「七夕の会」・9月「お月見」2歳児が団子作り体験。「敬老の会」祖父母10名参加。
- ・ 9月「とどらあまつり」学生会館と中庭で実施。二葉・ゆたか保育園や日音の幼稚園児、保護者参加。

### 三期（10・11・12月）

- ・ 10月「運動会」校庭実施。『オリンピック』をテーマにし、各競技にオリンピックの雰囲気を取り込む。
- ・ 「ハロウィン」保護者の協力が有り盛り上がる。 地域の方との交流もでき、お菓子まで頂く。
- ・ 11月「個人面談」実施。家庭の様子や園の生活、子育ての相談。「お楽しみ会」みちくさサークルによる人形劇。二葉・ゆたか保育園も参加あり。 \*サツマイモの収穫
- ・ 12月「小さな音楽会」保護者によるバイオリン演奏、高校生幼児コース出演好評。参加人数101名。
- ・ 「クリスマス会」昼食とおやつは手作り会食。
- ・ 2歳2名引越、転園で退園。全体29名

## 四期（1・2・3月）

1月「新年おめでとう会」獅子舞登場。

2月「豆まき会」・「保護者会」実施。

3月「ひな祭り会」ひな人形製作。会食用意。「うさぎ組おわかれ遠足」品川水族館へ行く。父母12名参加。

「お弁当遠足」園で弁当を用意し、8号館で食べる。

「お楽しみ会」絵本の読み聞かせの方招き楽しむ。今年度2回目で親しみが出ていた。近隣保育園招く。

2才児「ピザ」作り、「クッキー」作りは1・2合同で実施。

○平成29年度新入園児健康診断及び面接12名実施。0才児1名欠員。

○今年度から新入園児オリエンテーションを3月最終土曜日に開催。じっくり説明ができる有効。

○3月30日「さようなら会」小ホールにて実施。82名参加。全保護者参加で卒園・転園・進級を祝い、保育証書授与も行う。卒・転園児11名・幼稚園へ2名・保育園へ7名、0才児で途中転園2名。

◎今年度は心身症等の保護者や子ども対応で見守りの親子への関わり、心臓疾患・アレルギー児等で、より細かい確認や連絡の共有を密に取り進めた一年だった。

◎保護者より「行事等いろいろ工夫があり、製作もいろいろな素材が使われ、大切にしたいと思うような作品で、親子・家族皆で子育てを楽しむ事が出来た」との感想を頂く。

◎インフルエンザが流行り、養護教諭と相談しながら感染予防に配慮した。（健康チェックを続け様子を見た）

## 平成28年度 研修実施一覧

日本音楽学校保育園

## &lt;園外研修&gt;

月 日	研 修 名・内 容	講 師	場所時間・参加者	受講料
5・20(金)	第一回 特別支援講演会「気になる子の理解と支援」		品川区役所	
6・23(木)	第二回 特別保育支援「気になる言動と支援他」		第三庁舎	品川区主催
7・22(金)	第三回 「具体的支援他」 第四回 「インサイドワーク他」		14時～17時	無料
9・29(木)	講師：臨床発達心理士上原芳枝氏		小川	
6・8(水)	私立園長会主催 0・1・2歳心のバネを育む保育 今井和子氏		労働会館 芝崎	私立園長会主催 無料
6・24(金)	保育力アップ研修会「保育に活かす記録」 講師：青山学院女子短期大学 教授 岸井慶子氏		品川区役所 14～17 興崎・小林	品川区主催 無料
6・28(火)	給食担当者衛生講習会「食中毒の予防安全な給食運営」 品川区保健所食品衛生担当		品川区役所 金子	
7・6(水)	「一次救命処置」AED・CPRの実習 日本音楽高等学校養護教諭 児島先生		学校にて 全職員	
7・29(金)	3歳未満児の絵画指導入門 講師：芸術教育の表現研究会 代表 丸山智子氏		中野サンプラザ 10時～16時 安藤	8,300×1 8,3000円
8・26(金) 27(土)	「学研・保育のチカラ 夏の講習会」 ・リズム遊び・歌・ダンスの実践 鈴木翼・すかんぽ・ロケットクレヨン 新沢としひこ・中川ひろたか・ケロポンズ他		品川区きゅりあん 9時～17時 芝崎・ 田中・興崎・竹元・窪 小林/加藤・小川	7,200×4 28,800円
9・23(金)	幼児教育研修会「オリンピック・パラリンピック」 教育の取り組み (教育委員会主催) ベネッセ教育総合研究所顧問 磯部頼子氏		品川区役所 14時～17時 田中・安藤	品川区役所主催 無料
10・16(日)	「事故防止のための講習会」教育・保育施設における事故防止・発生時ガイドライン 田中哲朗氏		品川区役所 金子・安藤	品川区役所主催 無料
29年 1・17(火)	「気になる子」 臨床心理士 講師：堀内慎平氏		品川区役所 竹元	品川区役所主催 無料
2・8(水)	第二回特別支援講習会 「幼児に寄り添って幼児の自立に向けての支援」 講師：重松清文氏		品川区役所 14～17 窪・芝崎	品川区役所主催 無料
2・13(月)	遊びが「学び」—乳幼児期の教育とは— 0歳から教育が始まる 今井和子氏		労働会館 小川	私立園長会主催 無料
2・28(金)	食育講演会 講師：女子栄養大学教授武見ゆかり氏		品川区役所 14～17時 加藤・竹元	品川区役所主催 無料